

流通とSC・私の視点

2010年8月4日

視点(1291)

ネットショッピングの未来像!!

日本のネットショッピング(Eリテール)の売上高は3.4兆円(09年推定)で小売業全体の2.6%(店舗向け消費支出額=物販+飲食に相当=09年は推定129兆円)となっています。

しかし、2020年のネットショッピングの小売業全体の売上比較は15~20%、2030年には25~30%程度の割合を占めることになり重複統計とはなるが、SCの売上高を上回る可能性もあります。

2020年の流通経済の統計は、次のように想定できます。

<2020年の流通統計>

		実数	摘要欄
現在のGDP		473兆円	2009年実績
今後の成長率		3.5%	毎年3.5%
2020年推計	GDP	691兆円	
	民間消費支出比較	63%	現在は57%
	民間消費支出額	435兆円	691兆円×63%
	店舗内消費支出比率	40%	現在は44.3%
	店舗向け消費支出額	174兆円	435兆円×40%、現在129兆円

以上の流通経済統計(弊社推計・ただし日本のGDPの成長率を3.5%とした。私は日本のGDPの潜在成長率はポストモダン消費を日本の流通が成果として実現すれば年間6%の成長は可能と見ている)。

この2020年の流通経済統計をもとに2020年のネットショッピングの売上高(店舗向け消費支出=小売業+飲食業)で推計すると次の通りと想定されます。

<2020年のネットショッピングの推計>

		実数	摘要欄
ネットショッピングシェア	下位値	15%	
	中位値	20%	
ネットショッピング売上高	下位値	26兆円	174兆円×15%
	上位値	35兆円	174兆円×20%
現在との比較	下位値	現在の7.4倍	現在3.5兆円(年間約22%の成長で達成)
	上位値	現在の10倍	現在3.5兆円(年間約26%の成長で達成)

今後のIT技術の飛躍的な発展により、ネットショッピングは大きく成長します。その内容は次の通りです(六車流：流通理論)。

①デジタル人間の飛躍的拡大

生まれながらデジタル社会で育ったデジタル人間である新々世代(戦後第3世代)を中心に、デジタル人間の深化が進みます。

②五感情報通信技術の実現化

視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚といった五感の人間の感覚全体を情報通信の対象として、音声や画像に加え、触感や味、匂い等を相手との間で交換・共有するシステムです。

③ユビキタス社会の本格化

いつでも、どこでも、だれもが恩恵を受けることができるインターフェース、環境、技術のことで、情報化された社会のことです。

これらの要因により、ネットショッピングは我々が考えている以上の規模と速さで進化します。

(株)ダイナミックマーケティング社⁺
代表 六車秀之